



# 平成 19年 3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成 18年 8月 3日

上場会社名 ダイセル化学工業株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 4202

本社所在都道府県

( URL <http://www.daicel.co.jp> )

大阪府

代 表 者 代表取締役社長 小川 大介

問合せ先責任者 IR広報グループリーダー 畑 理史

TEL (03) 6711 - 8121

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
 連結(新規) 2社 (除外) -社 持分法(新規) -社 (除外) 1社

## 2. 平成 19年 3月期第1四半期の財務・業績の概況(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 18年 6月 30日)

### (1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注) 百万円単位表示の金額については百万円未満切捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年 3月期第1四半期	88,647	15.6	8,794	21.1	8,235	15.0	4,118	13.0
18年 3月期第1四半期	76,676	7.6	7,262	24.2	7,160	37.2	3,645	58.8
(参考) 18年 3月期	335,520		33,569		32,126		14,220	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年 3月期第1四半期	11.38	—
18年 3月期第1四半期	10.08	—
(参考) 18年 3月期	39.16	—

(注) 売上高・営業利益・経常利益・四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

### (2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年 3月期第1四半期	490,288	229,799	40.5	548.40
18年 3月期第1四半期	432,253	173,398	40.1	479.68
(参考) 18年 3月期	483,468	197,779	40.9	546.29

### 【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年 3月期第1四半期	5,946	△ 13,404	11,319	18,805
18年 3月期第1四半期	4,155	△ 26,470	20,047	14,745
(参考) 18年 3月期	32,780	△ 60,030	19,588	14,350

## 3. 平成19年 3月期の連結業績予想(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

前回公表の中間期および通期の業績予想の見直しは行っていません。

# 経営成績及び財政状態

## I. 経営成績

当第1四半期のが国経済は、長期にわたるデフレからの脱却には至らなかったものの、堅調な国内需要と輸出の増加に支えられ、引き続き回復基調で推移いたしました。

このような環境の中、当第1四半期の連結業績は、売上高 886 億 47 万円（前年同期比 15.6%増）、営業利益 87 億 94 百万円（前年同期比 21.1%増）、経常利益 82 億 35 百万円（前年同期比 15.0%増）、純利益 41 億 18 百万円（前年同期比 13.0%増）となりました。

事業部門別の状況は次のとおりです。

### [セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、主として液晶表示向けフィルム用途の需要の増加と、原燃料価格の上昇に伴う販売価格の是正により、売上高は増加いたしました。

たばこフィルター用トウは、国内におけるたばこ価格改定を前にした需要の増加や、海外における需要の堅調な推移により販売数量が増加するとともに、販売価格是正や為替の影響もあって、売上高は増加いたしました。

WSP（水溶性高分子）は、国内における医薬・化粧品用途の販売増や、海外における石油ボーリング用途や化粧品用途の需要増などが寄与して、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、145 億 37 百万円（前年同期比 10.2%増）、営業利益は、29 億 70 百万円（前年同期比 30.4%増）となりました。

### [有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、需要が堅調に推移したことにより、売上高は増加いたしました。

酢酸誘導体及び各種溶剤類などの汎用品は、堅調な需要に支えられ、原料高を背景に販売価格の是正を実施したことにより、売上高は増加いたしました。

ファインケミカル製品は、電子材料向けなどの高機能品の販売に注力したことや販売価格の是正などにより、売上高は増加いたしました。

医薬中間体は、キラル受託分離の需要増や、一部製品の販売増により、売上高は増加いたしました。

光学異性体分離カラムは、海外向けを中心にカラムの販売が好調で、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、224 億 61 百万円（前年同期比 16.3%増）、営業利益は、29 億 2 百万円（前年同期比 46.0%増）となりました。

なお、当期より、一部機能性材料を「その他事業部門」から「有機合成事業部門」に移管しております。

#### [合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂などのエンジニアリングプラスチックは、主として自動車分野向けの堅調な需要に支えられ、売上高は増加いたしました。

AS・ABS樹脂、エンプラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、汎用樹脂、高機能エンプラアロイ樹脂ともに販売が堅調に推移するとともに、当期より長繊維強化樹脂を売上計上したこともあって、売上高は増加いたしました。

シート事業は、一部不採算製品について事業撤退したことにより、売上高は減少いたしました。

成形容器、緩衝材などの製品事業は、高付加価値製品の販売及び販売価格の是正に注力したことにより、売上高は増加いたしました。

フィルム事業は、主力製品であるバリアフィルムの拡販と新規コーティングビジネスの拡大により、売上高は増加いたしました。

その他の樹脂加工事業は、土木資材分野において高耐圧ポリエチレン管の販売が増加いたしました。が、建築資材分野における一部製品の需要減少などにより、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、381億84百万円（前年同期比13.8%増）、営業利益は、34億5百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

#### [火工品事業部門]

自動車のエアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）は、国内自動車生産台数が堅調に推移する中、特に側突系のインフレーターや、運転席・助手席用の新型インフレーターの販売が順調に推移していることに加え、海外市場における販売も好調で、売上高は大幅に増加いたしました。

特機事業は、発射薬については防衛庁の調達数量が減少いたしました。が、航空機搭乗員緊急脱出装置及びミサイル構成部品については調達数量が増加したことにより、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、121億7百万円（前年同期比33.5%増）、営業利益は、12億98百万円（前年同期比9.4%減）となりました。

#### [その他事業部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、主として医療用途向けの販売増により、売上高は増加いたしました。

その他新規機能性材料につきましては、当期より一部製品を「有機合成事業部門」に移管したことにより、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、13億57百万円（前年同期比11.4%減）、営業利益は、1億53百万円（前年同期比96.2%増）となりました。

## II. 財政状態

### 1. 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、原燃料価格の高騰などによるたな卸資産の増加や、新規設備投資による建設仮勘定の増加などにより、前期末に比し 68 億 20 百万円増加し、4,902 億 88 百万円となりました。

負債は、借入金の増加などにより、前期末に比し 59 億 10 百万円増加し、2,604 億 88 百万円となりました。有利子負債は、前期末に比し 134 億 46 百万円増加して 1,374 億 99 百万円となり、総資産に占める有利子負債の割合は 28.0%となりました。

また、純資産は、2,297 億 99 百万円となりました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は、1,984 億 80 百万円となり、自己資本比率は 40.5%となりました。

### 2. 当第1四半期（平成18年4月1日～平成18年6月30日）のキャッシュ・フローの状況

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は、59 億 46 百万円（前年同期比 43.1%増）となりました。前年同期との差の要因は、主として税金等調整前四半期純利益や減価償却費の増加などによるものであります。

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は、134 億 4 百万円（前年同期比 49.4%減）となりました。前年同期との差の要因は、主として有形固定資産の取得に伴う支出の減少によるものであります。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の増加は、113 億 19 百万円（前年同期比 43.5%減）となりました。前年同期との差の要因は、主として借入による収入の減少であります。

以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前期末に比し 44 億 55 百万円増加し、188 億 5 百万円となりました。

## (要約)第1四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	期 別	前年第1四半期 (平成17年6月30日)	当第1四半期 (平成18年6月30日)	前連結会計年度 (平成18年3月31日)	増 減(△) (対平成18年3月31日)
		金額	金額	金額	金額
(資 産 の 部)					
I 流 動 資 産		( 157,519 )	( 180,066 )	( 172,343 )	( 7,723 )
現金及び預金		14,572	18,827	14,366	4,461
受取手形及び売掛金		73,871	81,192	83,825	△ 2,633
有 価 証 券		195	35	63	△ 28
た な 卸 資 産		54,984	64,803	59,512	5,291
収用に係る未収入金		3,150	2,362	2,362	-
そ の 他		10,930	13,091	12,418	673
貸倒引当金		△ 184	△ 246	△ 204	△ 42
II 固 定 資 産		( 274,733 )	( 310,221 )	( 311,125 )	( △ 904 )
1. 有 形 固 定 資 産		( 186,622 )	( 203,541 )	( 201,360 )	( 2,181 )
建物及び構築物		49,659	53,704	53,794	△ 90
機械装置及び運搬具		67,667	81,094	83,775	△ 2,681
土 地		27,214	27,871	27,849	22
建設仮勘定		38,113	36,918	31,825	5,093
そ の 他		3,967	3,952	4,116	△ 164
2. 無 形 固 定 資 産		7,680	7,594	7,558	36
3. 投資その他の資産		( 80,429 )	( 99,085 )	( 102,206 )	( △ 3,121 )
投資有価証券		62,080	78,043	81,146	△ 3,103
収用に係る未収入金		8,555	6,282	6,282	-
そ の 他		10,412	15,315	15,178	137
貸倒引当金		△ 619	△ 555	△ 401	△ 154
資 産 合 計		432,253	490,288	483,468	6,820

(注) 増減は当第1四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

(単位：百万円)

区 分	期 別	前年第1四半期	当第1四半期	前連結会計年度	増 減(△)
		(平成17年6月30日)	(平成18年6月30日)	(平成18年3月31日)	(対平成18年3月31日)
		金額	金額	金額	金額
(負債の部)					
I	流動負債	( 110,308 )	( 135,847 )	( 133,419 )	( 2,428 )
	支払手形及び買掛金	47,264	50,708	51,156	△ 448
	1年以内に償還する社債	-	10,000	10,000	-
	短期借入金	29,472	30,127	23,065	7,062
	1年以内に返済する長期借入金	11,451	20,118	19,323	795
	未払法人税等	2,182	4,772	7,466	△ 2,694
	定期修繕引当金	-	344	-	344
	その他	19,936	19,776	22,408	△ 2,632
II	固定負債	( 119,132 )	( 124,641 )	( 121,159 )	( 3,482 )
	社 債	40,000	30,000	30,000	-
	長期借入金	37,977	47,254	41,664	5,590
	退職給付引当金	6,152	7,862	7,894	△ 32
	定期修繕引当金	-	130	-	130
	圧縮記帳特別勘定	26,387	22,580	22,580	-
	その他	8,615	16,813	19,019	△ 2,206
負債合計		229,441	260,488	254,578	5,910
(少数株主持分)					
少数株主持分		29,413	-	31,110	-
(資本の部)					
I	資 本 金	36,275	-	36,275	-
II	資 本 剰 余 金	31,379	-	31,573	-
III	利 益 剰 余 金	89,451	-	98,482	-
IV	その他有価証券評価差額金	19,969	-	32,704	-
V	為替換算調整勘定	△ 2,612	-	△ 156	-
VI	自 己 株 式	△ 1,065	-	△ 1,099	-
資本合計		173,398	-	197,779	-
負債、少数株主持分及び資本合計		432,253	-	483,468	-
(純資産の部)					
I	株 主 資 本	( - )	( 167,830 )	( - )	( - )
	資 本 金	-	36,275	-	-
	資 本 剰 余 金	-	31,573	-	-
	利 益 剰 余 金	-	101,097	-	-
	自 己 株 式	-	△ 1,116	-	-
II	評 価 ・ 換 算 差 額 等	( - )	( 30,649 )	( - )	( - )
	その他有価証券評価差額金	-	30,218	-	-
	繰延ヘッジ損益	-	117	-	-
	為替換算調整勘定	-	313	-	-
III	少 数 株 主 持 分	-	31,319	-	-
純資産合計		-	229,799	-	-
負債純資産合計		-	490,288	-	-

(注) 増減は当第1四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

## (要約)第1四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

区 分	前年第1四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)		当第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)		前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)		増 減(△) (対前年第1四半期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率
		%		%		%		%
I 売 上 高	76,676	100.0	88,647	100.0	335,520	100.0	11,971	15.6
II 売 上 原 価	56,713	74.0	66,015	74.5	248,791	74.2	9,302	16.4
売 上 総 利 益	19,962	26.0	22,632	25.5	86,729	25.8	2,670	13.4
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	12,699	16.5	13,837	15.6	53,159	15.8	1,138	9.0
営 業 利 益	7,262	9.5	8,794	9.9	33,569	10.0	1,532	21.1
IV 営 業 外 収 益	730	0.9	736	0.8	3,054	0.9	6	0.8
受 取 利 息	53		133		358		80	
受 取 配 当 金	283		354		514		71	
そ の 他	393		247		2,181		△ 146	
V 営 業 外 費 用	832	1.1	1,295	1.4	4,496	1.3	463	55.6
支 払 利 息	406		680		2,028		274	
そ の 他	426		614		2,468		188	
経 常 利 益	7,160	9.3	8,235	9.3	32,126	9.6	1,075	15.0
VI 特 別 利 益	172	0.2	1	0.0	6,990	2.1	△ 171	△99.4
固 定 資 産 処 分 益	172		-		174		△ 172	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	-		1		594		1	
補 助 金 収 入	-		-		2,217		-	
圧 縮 記 帳 特 別 勘 定 取 崩 益	-		-		3,807		-	
移 転 補 償 金	-		-		197		-	
VII 特 別 損 失	113	0.1	69	0.1	9,732	2.9	△ 44	△38.9
固 定 資 産 除 却 損	93		69		1,367		△ 24	
減 損 損 失	19		-		1,149		△ 19	
固 定 資 産 圧 縮 損	-		-		6,024		-	
過 年 度 退 職 給 付 費 用	-		-		1,190		-	
税 金 等 調 整 前 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	7,218	9.4	8,167	9.2	29,385	8.8	949	13.1
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,733	2.3	3,451	3.9	10,416	3.1	1,718	99.1
法 人 税 等 調 整 額	1,040	1.3	△ 351	△0.4	1,115	0.4	△ 1,391	
少 数 株 主 利 益	799	1.0	949	1.1	3,632	1.1	150	18.8
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	3,645	4.8	4,118	4.6	14,220	4.2	473	13.0

## (要約)第1四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	期 別	前年第1四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)	当第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
		金額	金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前四半期(当期)純利益		7,218	8,167	29,385
減価償却費		4,958	5,538	22,484
受取利息及び受取配当金	△	337	△ 488	△ 872
支払利息		406	680	2,028
固定資産除売却損益	△	78	69	1,193
売上債権の増減額(増加：△)		4,201	3,008	△ 4,473
たな卸資産の増減額(増加：△)	△	3,017	△ 5,020	△ 6,472
仕入債務の増減額(減少：△)	△	3,218	△ 662	△ 603
役員賞与の支払額	△	68	△ 68	△ 68
その他の	△	1,135	823	△ 208
小 計		8,930	12,048	42,392
利息及び配当金の受取額		360	498	1,007
利息の支払額	△	310	△ 607	△ 1,968
法人税等の支払額	△	4,824	△ 5,993	△ 8,650
営業活動によるキャッシュ・フロー		4,155	5,946	32,780
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
有形固定資産の取得による支出	△	25,073	△ 11,160	△ 57,587
有形固定資産の売却による収入		173	-	179
無形固定資産の取得による支出	△	524	△ 344	△ 1,430
投資有価証券の取得による支出	△	85	△ 1,033	△ 2,225
投資有価証券の売却等による収入		100	3	3,057
貸付けによる支出	△	800	△ 991	△ 1,007
貸付金の回収による収入		53	120	348
その他の	△	315	2	△ 1,364
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	26,470	△ 13,404	△ 60,030
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入金の純増減額(減少：△)		11,840	7,092	4,924
長期借入による収入		12,241	8,487	33,573
長期借入金の返済による支出	△	1,809	△ 2,260	△ 13,100
自己株式の取得による支出	△	7	△ 17	△ 86
自己株式の売却による収入		0	0	372
配当金の支払額	△	1,807	△ 1,447	△ 3,255
少数株主への配当金の支払額	△	410	△ 534	△ 2,840
財務活動によるキャッシュ・フロー		20,047	11,319	19,588
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		373	174	1,797
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△	1,894	4,036	△ 5,864
VI 現金及び現金同等物の期首残高		16,639	14,350	16,639
VII 新規連結子会社増加による現金及び現金同等物の増加額		-	419	3,575
VIII 現金及び現金同等物の期末残高		14,745	18,805	14,350



## セグメント情報

### (1) 事業の種類別セグメント情報

前年第1四半期（自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）

（単位：百万円）

	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品 事業	その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,195	19,312	33,565	9,071	1,532	76,676	—	76,676
(2) セグメント間 の内部売上高	560	2,574	10	—	2,361	5,507	( 5,507)	—
計	13,755	21,887	33,575	9,071	3,893	82,183	( 5,507)	76,676
営 業 費 用	11,477	19,898	30,346	7,637	3,815	73,176	( 3,762)	69,413
営 業 利 益	2,278	1,988	3,229	1,433	78	9,007	( 1,744)	7,262

当第1四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

（単位：百万円）

	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品 事業	その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	14,537	22,461	38,184	12,107	1,357	88,647	—	88,647
(2) セグメント間 の内部売上高	917	3,186	6	—	2,768	6,878	( 6,878)	—
計	15,454	25,647	38,190	12,107	4,125	95,526	( 6,878)	88,647
営 業 費 用	12,484	22,745	34,784	10,809	3,972	84,795	( 4,942)	79,853
営 業 利 益	2,970	2,902	3,405	1,298	153	10,730	( 1,936)	8,794

前連結会計年度（自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品 事業	その他 事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	55,898	84,435	142,556	44,090	8,539	335,520	—	335,520
(2) セグメント間 の内部売上高	2,222	10,989	36	—	10,266	23,515	( 23,515)	—
計	58,121	95,424	142,593	44,090	18,806	359,035	( 23,515)	335,520
営 業 費 用	47,290	85,946	129,421	37,473	17,489	317,621	( 15,671)	301,950
営 業 利 益	10,830	9,477	13,171	6,617	1,316	41,413	( 7,843)	33,569

（注） 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分に属する主要な製品の名称等

セルロース事業	酢酸セルロース、たばこフィルター用トウ、CMC他
有機合成事業	酢酸及び酢酸誘導体、カプロラクトン誘導体、エポキシ化合物、半導体レジスト材料、各種医薬中間体、光学異性体分離カラム他
合成樹脂事業	ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、AS・ABS樹脂、エンプラアロイ樹脂、各種合成樹脂成形加工品他
火工品事業	自動車エアバッグ用インフレーター、航空機搭乗員緊急脱出装置、発射薬他
その他事業	水処理用分離膜モジュール、運輸倉庫業他

3. 「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容は以下のとおりであります。(単位：百万円)

	前年第1四半期	当第1四半期	前連結会計年度	主な内容
消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額	1,744	1,936	7,843	提出会社の基礎研究及び管理部門等に係る費用

4. 事業区分の方法の変更

当第1四半期(自平成18年4月1日至平成18年6月30日)

前連結会計年度までその他事業部門としておりました一部機能性材料を当第1四半期より有機合成事業部門へ変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、「有機合成事業」について売上高は381百万円、営業費用は313百万円、営業利益は68百万円それぞれ増加し、「その他事業」について売上高は381百万円、営業費用は313百万円、営業利益は68百万円それぞれ減少しております。

(2)所在地別セグメント情報

前年第1四半期(自平成17年4月1日至平成17年6月30日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	60,506	12,359	3,811	76,676	—	76,676
(2) セグメント間の内部売上高	9,285	1,914	108	11,308	(11,308)	—
計	69,791	14,273	3,920	87,985	(11,308)	76,676
営業費用	62,517	12,815	3,644	78,977	(9,564)	69,413
営業利益	7,273	1,457	275	9,007	(1,744)	7,262

当第1四半期(自平成18年4月1日至平成18年6月30日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	68,069	15,129	5,448	88,647	—	88,647
(2) セグメント間の内部売上高	11,529	2,097	333	13,960	(13,960)	—
計	79,598	17,227	5,782	102,608	(13,960)	88,647
営業費用	71,108	15,231	5,538	91,878	(12,024)	79,853
営業利益	8,489	1,996	244	10,730	(1,936)	8,794

前連結会計年度（自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	日 本	アジア	その他	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	264,620	54,479	16,419	335,520	—	335,520
(2) セグメント間の内部売上高	42,455	7,963	459	50,878	( 50,878)	—
計	307,076	62,443	16,879	386,398	( 50,878)	335,520
営 業 費 用	273,778	55,125	16,081	344,984	( 43,034)	301,950
営 業 利 益	33,297	7,317	798	41,413	( 7,843)	33,569

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア 香港、シンガポール、中国、タイ、台湾、マレーシア

(2) その他 北米、ヨーロッパ

3. 「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容は、「事業の種類別セグメント情報」の「(注) 3」と同一であります。

### (3)海外売上高

前年第1四半期（自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）

（単位：百万円）

	アジア	その他	計
I. 海 外 売 上 高	17,458	6,670	24,129
II. 連 結 売 上 高			76,676
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	22.8	8.7	31.5

当第1四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

（単位：百万円）

	アジア	その他	計
I. 海 外 売 上 高	21,186	9,003	30,190
II. 連 結 売 上 高			88,647
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	23.9	10.2	34.1

前連結会計年度（自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	アジア	その他	計
I. 海 外 売 上 高	76,704	31,335	108,040
II. 連 結 売 上 高			335,520
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	22.9	9.3	32.2

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア 中国、香港、タイ、シンガポール、韓国、台湾

(2) その他 北米、ヨーロッパ、アフリカ、オセアニア、中近東、中南米

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。